

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		活性化計画策定支援					所管	文化産業観光部 産業振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	24	計画事業名	活性化計画策定支援			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化							
		[小 柱] (2)地域経済の活性化							
		[施 策] ①商店街の意欲を活かした振興							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区商店街振興事業実施要項、台東区商店街振興事業補助金交付要綱					
	事業対象	商店街							
	事業目的	商店街の活性化を図るために行う各種調査、具体的な計画づくりに要する経費の一部を補助することにより、商店街・中小企業の発展、地域経済の活性化を図る。							
	事業内容	区内の商店街の活性化を図るために行う各種調査、具体的な計画づくりに要する経費の一部を補助する。 補助率:1/2(東京都が補助する場合は区と都を合わせて2/3以内) 限度額:任意250万円 法人300万円 複数500万円(区・都それぞれの限度額) (事業計画、実施設計を段階的に作成する場合は、最大2年間補助)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度		
	活動指標	助成件数	件	2	1	1	1		
		成果指標							
	決算額 (単位:千円)				4,410	1,200	1,200		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,278	850	1,203		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			4,410	1,200	1,200		
		総経費			5,688	2,050	2,403		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,205	600	600		
一般財源(区負担額)			3,483	1,450	1,803				
前回評価から改善した事項	商店街が事業や運営の改善に効果的な計画を策定できるよう、個別に商店街の様々な相談に応じた。さらに状況によっては、確認のために何度も商店街を訪問し、きめ細やかな指導・助言を行った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	商店街からの申請数により、年度によって助成件数に変化はあるが、本事業は商店街が将来に向けて計画的な事業を実施するうえで重要であるため。						
	効率性	3	事業の効果維持及び適正化のため、早い段階から積極的に指導・助言を行い効率化を図っているため。						
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店街に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っているため。						
	目的達成度	4	商店街活性化のための具体的な計画・設計において、資するものとなっている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			
本事業は商店街の計画的な事業実施のため、重要である。平成27年度に関しては実施件数は少ないものの、必要性が高い事業であり、評価を「維持」とした。今後とも、積極的に指導・助言を行うことで事業の効率化を図るとともに、東京都と連携しながら事業を進めていく。									